



お客様相談室便り

2012年9月号

平成23年度PIO-NET件数 191件

平成23年度のPIO-NET件数は、

22年度は239件で、前年比－48件と減少しているものの、
残念ながら件数としてはまだ多いと言えます。

今年度5月のコンプライアンス推進協議会のテーマは、

「PIO-NET件数を減少させるための対策について」でした。

各所属が出した対策を実行して、今年度は

PIO-NET件数をさらに減少させていきましょう。

クーリング・オフしたい。
どうしたらいいか？

赤チラシを確実にお渡しし、書かれてある内容をご理解いただきますよう。



高齢の親が契約したようで、心配だ。

ご家族との確認は確実に、段取りを踏んで行いましょう。時間と手間を惜しまない。

23年度PIO-NET こんな相談事案がありました。

えっ！こんな内容でもPIO-NET件数1件にカウントされるの？と思われるかもしれません。消費者行政も「何かあればすぐ消費生活センターに相談」という注意喚起をしているので、様々な相談が寄せられます。そして、なぜ消費者がサニックスではなく、わざわざ消費生活センターに相談されるのだろうか？というところを見られています。

サニックスで見積してもらったけど、高いの？安いの？

「受け止め方は様々ですが、こういう質問もカウントされますよ」（消費生活センターの相談員さんより）



点検は受けたんだけどその後の勧誘が迷惑

まず、定期点検の第一の目的である「工事の効果はどうなのか」をきちんと説明しましょう。

